

令和2年度第4回長久手市障がい者自立支援協議会本会議 議事録要旨

開催日時	令和3年3月19日（金）午前10時から午前10時30分まで
開催場所	長久手市役所北庁舎2階 第5会議室
出席者氏名 （敬称略）	<p>愛知県立大学教育福祉学部社会福祉学科 教授 吉川雅博【計画評価部会長・計画策定部会長】</p> <p>瀬戸保健所健康支援課 課長補佐 西川恵子</p> <p>長久手市身体障害者福祉協会 会長 加藤勝</p> <p>希望の会 会長 近藤浩光</p> <p>ウエンディの箱 会長 鈴木厚子</p> <p>長久手市民生委員児童委員協議会障がい者部会 部会長 高田千津子</p> <p>社会福祉法人長久手市社会福祉協議会 事務局長 見田喜久夫</p> <p>株式会社フォルツァあるく長久手グリーンロード 施設長 後藤俊輔【就労支援部会長】</p> <p>特定非営利活動法人百千鳥 理事長 竹田晴幸【福祉サービス支援部会長】</p> <p>長久手市障がい者基幹相談支援センター 鈴木聖美</p> <p>長久手市教育委員会 指導主事 荒川ひとみ</p> <p>長久手市福祉部長 川本晋司【会長】</p> <p>尾張東部圏域地域アドバイザー 大谷真弘</p>
欠席者氏名 （敬称略）	<p>愛知県立大学教育福祉学部社会福祉学科 教授 宇都宮みのり【精神障がい者支援部会長】</p> <p>名古屋東公共職業安定所 業務担当次長 田中清仁</p> <p>尾張東部障がい者就業・生活支援センターアクト 就労支援コーディネーター 有田幸奈</p> <p>ほっとクラブ 会長 山口恭美</p>
審議の概要	<p>1 あいさつ</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 協議事項 第4次長久手市障がい者基本計画等の（案）について</p> <p>(2) 報告事項 障がい者自立支援協議会の再編およびプロジェクトの内容について</p> <p>3 その他</p>

公開・非公開 の別	公開
傍聴者の人数	0人

1 あいさつ

○会長あいさつ

2 議題

(1) 協議事項

第4次長久手市障がい者基本計画等の（案）について

○会長

計画策定部会部会長及び事務局から報告をお願いします。

○計画策定部会部会長（吉川委員）

第4次長久手市障がい者基本計画等の進捗について説明する。3月9日開催の第6回部会において「ながふく障がいプラン」全体および概要版について概ね協議が整った。一部デザインや色合いについて意見があり事務局で対応中である。1月22日から2月22日に実施した当計画のパブリックコメントにおいて1名から2件の意見の提出があった。その内容についても部会で協議した結果、事務局の提案のとおり承認した。

○事務局

（事務局による資料説明）

このイラストは、計画の表紙の次のページに位置に配置するもので、基本理念をイメージしてつくった。市章と同じ色の緑を基調に、多様なパズルのピースがつながり、地域がつくられることを表している。

3月9日の策定部会にて、このイラストについて出された意見を踏まえて修正したものを、本日ご提示した。

意見のうち、色の組み合わせ、コントラストによっては、障がいのある人が見えづらいことがあるのでは、との意見を受け色彩を修正した。修正後のイラストについては、色彩変換ツールを活用して、見え方を確認した。計画書及び概要版についても、色彩を一部変更する予定である。

なお、パブリックコメントの実施結果については、現在、公表に向けて準備中

であり、当日資料として配布している。

○委員

前回の会議でイラストについて意見があった。以前は矢印や細かい文字の説明があったが、それらが無くなりわかりやすくなった。改善されている。

○委員

わかりやすくなったという印象。基本理念の「互いに声を掛け合いながら」手助けをする側、受ける側というのではなく、街の中には多様な人がいて、条件が違えば立場も変わるという多様性が表現されている。

協議事項「第4次長久手市障がい者基本計画等の（案）について」承認

○部会長

文章などの微修正については、部会長と事務局で行うこととする。

(2) 報告事項

障がい者自立支援協議会の再編およびプロジェクトの内容について

○会長

事務局から報告をお願いします。

○事務局

資料1頁目には、再編のポイントについてまとめている。これまでの協議会の現状と課題を踏まえて、自立支援協議会の役割及び機能を改めて見直した結果、今後の取組として記載しているとおり、障がい福祉関係者連絡会の設置により、関係者間の交流、連携の強化、そして部会ではなくプロジェクトチームの設置による課題解決力の強化を図ることとした。

2頁目からは、令和3年度当初に設置する新たなプロジェクトの内容をまとめている。

2頁の療育支援体制整備プロジェクトチームは、これまでの児童教育支援部会の内容を引き継ぎつつ、新たに整備されるこどもの発達相談室を中心とした療育支援体制や、障がい児に係る地域課題の検討を進めていく。

3頁の理解促進・交流プロジェクトチームは、自由な発想によるイベントの実施や情報発信ツールづくり等、実践型の内容を想定しているプロジェクトである。よって、企画段階から当事者やその家族の方に参加していただくことも考え

ている。

4頁の医療的ケアが必要な人への支援体制整備プロジェクトチームについて、まずは市及び基幹相談支援センターが主軸となり、情報及び課題整理に着手することとし、必要に応じて関係者とともに協議していくことを想定している。プロジェクト化することにより、自立支援協議会を通して医療的ケアが必要な人やその暮らしについて、市民の認知を高めていくという狙いもある。

5頁の防災プロジェクトについて、障がいのある人が発災時に事業所にいることも想定できるため、各事業所の災害対応の確認や事業所利用者の自助意識の向上に向けた取組の検討などを行う。これにより、地域における重層的な防災セーフティーネットづくりを進めていきたいと考えている。

6頁以降には、現行部会の活動について、今後どのような場、機会で行っていくかについてまとめた。再編に伴い、部会はすべて解散とするが、これまでの成果及び残された課題については適切な場を引き継いでいく。

○委員

プロジェクトの主軸が鍵である。

○委員

課題が明確になる「プロジェクト」は進めやすい。

○会長

プロジェクトは中身の見える化が肝心。「誰が」回して行くのか、どういう人間たちが支えていくのかを明確にしていかなければならない。引き続き、メンバーがチームとして進めていくためにご協力をお願いしたい。

(3) その他

○会長

事務局から説明をお願いします。

○事務局

第2回、第3回の本会議で障がい者手当の見直しについて提案した。具体的には、支給対象者を「64歳までに手帳を交付された方」とすること、支給対象外となる施設入所者の「施設」に、介護保険法に併せて老人保健施設等を追加することである。皆様からのご意見及び庁内での協議を踏まえ、本内容にて、令和3年度中に改正条例案を市議会に上程していくこととしたので報告する。

○会長

議会にも諮りながら十分議論をつくして提案していきたいと考えている。

3 その他

○会長

今年度最後の会議であるため、発言されてない方に一言お願いしたい。

○委員

なかなか参加できなかったが、新しいプロジェクトに期待している。

○委員

来年度の療育体制の新たな整備に期待し、一緒に対応していきたい。

○委員

支援が必要な児童がこの時期（3月）に長久手市に転校を希望していらっしゃる。「長久手市の支援の体制が手厚い。福祉に力を入れている。」と言う保護者が多い。プロジェクトにもつながっていると感じる。

○委員

プロジェクトには一事業所として協力していきたい。

○アドバイザー

協議会の再編にあたり丁寧な引き継ぎであると感じている。先日、愛知県自立支援協議会があり、医療的ケアのある方への支援の必要性や災害時の支援の話があった。長久手市のプロジェクトにも医療的ケアチームと防災チームが設置されたので、これから丁寧に取り組んでいただきたい。

○委員

プロジェクトチームで課題解決の向上を図ることは頼もしい。精神障害者の個別支援もきちんとされていて有り難い。保健所としても今後も協力したい。

○会長

最後に、この会議をもって、計画策定部会長の吉川委員が都合により退任される。計画の策定にあたりご尽力いただき感謝申し上げます。

○会長

これで議事は終了する。